



FI ナイター

日本名輪会カップ&第7回藤巻昇杯 &スポーツ報知杯争奪戦

4/16(水)17(木)18(金)

春を告げる函館競輪が開幕!

本年度、春を告げる函館競輪が藤巻昇杯を皮切りに開幕!今シリーズはS1上位級が揃って技の競演が見どころだ。現在競走得点トップの松本貴治が持ち味自在脚を發揮し主役の走りを見せそう。昨年10月のFI

函館Vをキツカケに防府記念、松山記念連続Vと総合力上位だ。一方の三谷将太は2月の地元記念で2勝、続く全日本選抜競輪GIで決勝進出決めるなど抜群のテクニクを披露しており好位キープから突っ込みを狙う。北日本勢からは山崎芳仁、大森慶一が反撃の狼煙を上げる。山崎は脅威の捲りを駆使しGIを9勝するなど時代を

築いた大スター、大森も地元の牙城を守るべく大きな役割を担う。追込み型では岩津裕介、和田健太郎に注目。岩津は先月玉野記念の決勝で取島雄吾の番手から見せ場十分の4着。

和田は1月伊東FIの落車が影響しているのか本来の動きでないが切れ味十分の差し脚あり軽視は禁物。九州からは伊藤旭と小岩大介が参戦。伊藤は1月地元熊本でVスタートを決めた捲りは破壊力十分。好位から捲りを出せれば小岩と共に九州勢が優勝さう場面も。

おもな出場予定選手

| 班別 | 選手名 | 登録地 | 期別 |
|----|--------|-------|-----|
| S1 | 竹内 智彦 | 宮城 | 84 |
| | 和田 健太郎 | 千葉 | 87 |
| | 岩津 裕介 | 北海道 | 87 |
| | 大森 慶一 | 北海道 | 88 |
| | 山崎 芳仁 | 福島 | 88 |
| | 小岩 大介 | 福大 | 90 |
| | 三谷 将太 | 奈良 | 92 |
| | 松本 貴治 | 愛媛 | 111 |
| | 伊藤 旭 | 熊本 | 117 |
| | S2 | 川津 悠揮 | 北海道 |

注目選手



松本貴治

愛媛 111期

今シリーズ競走得点トップ。昨年後半はVラッシュ。今年に入っては1月和歌山記念で古性優作に敗れはしたが準優勝。FI戦では格が違う印象だ。

注目選手



三谷将太

奈良 92期

近畿屈指のメーカー。今年には地元の奈良記念で2勝し決勝3着。続くGI全日本選抜では決勝進出と絶好調。位置取り厳しく堅実な差脚で虎視眈々と上位を窺う。

注目選手



山崎芳仁

福島 88期

今年に入ってから動きは悪くないし随所で捲りも出している。北日本勢の上位陣は自力型が手薄なので、前で戦う可能性が高そうだが一発には注意したい。

地元選手



大森慶一

北海道 88期

差しの鋭さ、勝負処の嗅覚は抜群で昨年は函館記念で2勝含めFI戦では優勝争いしていた。ホームで気分良く走れるのはプラス。地元初戦で弾みをつける。

新人達の壮絶なV争い!

話題の早期卒業生・市田龍生都が参戦。連日の圧勝劇で人気に応えた1月松戸で衝撃的な強さでデビュー戦を飾ると、先月岐阜でも圧巻のパフォーマンスを見せた。125期生はアスリート能力が高い選手が揃った感はあるが、それでも競技で千メートルを得意種目とする127期市田のスピードは飛び抜けている。今回出場の新人で点数最上位は中島淳。作新学院在学時は野球で甲子園に「4番サード」で出場し猛打賞。本格デビューした前期は10月の西武園で完全Vを飾り、年末3場所全て準優勝とチャレンジ戦では安定した

| おもな出場予定選手 | | | | |
|-----------|-----|----|------|-----|
| 班別 | 選手名 | | 登録地 | 期別 |
| A3 | 大澤 | 哉太 | 北海道 | 95 |
| | 三浦 | 大輝 | 宮城県 | 111 |
| | 角田 | 光 | 福島県 | 125 |
| | 中島 | 淳 | 埼玉県 | 125 |
| | 瀧川 | 幸広 | 愛知県 | 125 |
| | 秋末 | 蓮 | 兵庫県 | 125 |
| | 原田 | 峻治 | 山口県 | 125 |
| | 森 | 柁斗 | 徳島県 | 125 |
| | 寺師 | 幸成 | 鹿児島県 | 125 |
| | 市田 | 龍生 | 福井県 | 127 |

注目選手



市田龍生都
福井 127期

注目選手

市田佳寿浩を父に持つサラブレッドが圧巻のパフォーマンスで影をも踏ませぬ走り独走中。ここでもパワーとスピードで圧倒し完全優勝に期待が集まる。

注目選手



角田光
福島 125期

注目選手

養成所時代にはゴールデンキャップを獲得していて、世界で活躍する選手を育成するHPD教場にも選出されていた好素材。昨年は8月当所で完全Vも飾っている。

注目選手



中島淳
埼玉 125期

注目選手

決勝進出を逃さない抜群の安定感。昨年10月地元西武園で完全V。先月は小松島で森柁斗相手に2度目のVを飾るなど持ち前の積極策が功を奏するか。

地元選手



大澤哉太
北海道 95期

注目選手

近況、自力こそ影を潜めたがシャープな決め脚を温存。昨年10月の函館では決勝戦に進出と地元戦は一層気合が入る。新人達を相手にひと泡吹かせるか。

戦績を残している。角田光はまだ優勝2回で少し淋しい感じはするが、養成所時代にはゴールデンキャップを獲得。世界で活躍する選手を育成するHPD教場にも選出されていた

逸材である事を忘れてはならない。遠征勢の中では森柁斗も好勝負を演じそうな一人。昨年末の10月玉野で完全Vを皮切りに、3度の完全Vとこのクラスではパワー上位の存在。成長が著しい新人達の激突で、今後を占う意味でも注目が集まるシリーズとなりそうだ。

各種SNSで情報発信中!!フォロー&チャンネル登録もぜひ!

